2026.08

コーティングオプション
作業マニュアル

●レンズコーティング

●ホイールコーティング（シングル・ダブル・マットホイール）

●無塗装樹脂パーツキーパー

●シリコン ウインドウ キーパー

KeePer技研株式会社

コーティングオプション 作業の流れ

（例）EXキーパー
作業時の場合

	レンズコーティング	ホイールコーティング	無塗装樹脂パーツキーパー	シリコン ウインドウ キーパー
				
洗車	洗車		洗車	洗車
		ホイールクリーニング		油膜取り
脱脂工程	爆ツヤ		爆ツヤ	
プライマーガラス				
VP326				
			無塗装樹脂パーツキーパー	
コーティングホールド仕上げ			（コーティングホールド）	
	ポリカコート	ホイールコーティング		シリコン ウインドウ キーパー
	作業方法はP3へ	作業方法はP4へ	作業方法はP6へ	作業方法はP8へ

レンズコーティング

レンズコーティングで使用するツール

- ●ポリカコート
- ●マイクロスポンジ
- ●ダイヤクロス
- ●爆ツヤ
- ●爆ツヤ専用小分けボトル
- ●スポンジ 青



施工箇所

1. ヘッドライト
2. ウィンカー
3. フォグランプ
4. ハイマウントストップランプ
5. テールレンズ
6. リフレクター
7. バイザー(オプション)



※全てのレンズ類で2~3パウチ使用

⚠ 注意:開封前に5~10回程度、コーティング剤をパッケージの上からよく揉みほぐしてから開封する。

※ジェル状の塊がある場合がありますが、コーティングの性能には問題ありません。

STEP.1 洗車・脱脂工程

❶ 洗車を行い 全てのレンズ類を「爆ツヤ」で洗浄し 水で良く洗い流す

使用ツール
- ●爆ツヤ
- ●爆ツヤ専用小分けボトル
- ●スポンジ 青



⚠ 注意
- 「爆ツヤ」を水で良く洗い流すこと。

❷ 「快洗Taoる」または「キーパークロス」で レンズ類の水気を拭き取る

参考
- タオルで拭けない隙間の水は、エアーガンで飛ばします。



使用ツール
- ●快洗Taoる



STEP.2 ポリカコート

❶ 「ポリカコート」を 「マイクロスポンジ」に適量取り ヘッドライトに満遍なく塗り広げる

参考
- ヘッドライト1個で「ポリカコート」半分程度を使用。水気が垂れてきている場合は「快洗Taoる」で拭き取ってから施工してください。





❷ 乾いた「ダイヤクロス」で拭き取る

参考
- 塗装面、ガラス面に「ポリカコート」が付いた場合は一緒に拭き取ってください。



❸ 全てのレンズ類に❶❷の作業を行う















⚠ 注意
- 施工後1時間以上、水がかからないようにすること。

❶ ホイールコーティング（シングル・ダブル）

ホイールコーティングで使用するツール

●ホイールコーティング2
●マイクロスポンジ
●ダイヤクロス
●ホイールクリーナー
●ホイール用スポンジ



施工箇所

●アルミホイール4本



※ホイール4本で4パウチ使用

注意:マット塗装のホイールには施工できません。

注意：開封前に5～10回程度、コーティング剤をパッケージの上からよく揉みほぐしてから開封する。
※ジェル状の塊がある場合がありますが、コーティングの性能には問題ありません。

STEP.1 ホイールクリーニング

❶ ホイールを「ホイールクリーナー」で洗浄し水で良く洗い流す

注意
● 「ホイールクリーナー」を水で良く洗い流すこと。

使用ツール
●ホイールクリーナー



❷ 「快洗Taoる」でホイールの水気を拭き取る

参考
● タオルで拭けない隙間の水は、エアーガンで飛ばします。



使用ツール
●快洗Taoる



STEP.2 ホイールコーティング2

❶ 「ホイールコーティング2」を「マイクロスポンジ」に適量取り ホイール半分に満遍なく塗り広げる





参考
● ホイール半分で、「ホイールコーティング2」半分程度を使用。
● 水気が垂れてきている場合は「快洗Taoる」で拭き取ってから施工してください。
● 細かい形状のホイールの場合は「マイクロスポンジ」を斜めにカットして使用すると塗り広げやすくなります。



❷ 乾いた「ダイヤクロス」で拭き取り 残り半分にも❶❷の作業を行う





注意
● 「ホイールコーティング2」はとてもサラサラとした触り心地です。
そのため拭き残しが分かりづらいためクロス面を定期的に換える。隙間なく拭き上げることが重要。

❸ 別のキレイな「ダイヤクロス」で仕上げ拭きを行い 全てのホイールに❶～❸の作業を行う シングルの場合はここで作業終了



注意
● 施工後1時間以上、水がかからないようにすること。

もし、拭き残してしまったら…
拭き残しは時間が経つと白く残ります。
「硬化」して拭き取れない場合、「内窓クリーナー」で
ダイヤクロスを湿らせゆっくり拭き、再度施工してください。

拭き残し例



ホイールコーティング（ダブル）の場合

❶ STEP.1 ～ STEP.2 の作業を行う
❷ 硬化時間を1時間置く
❸ 再度、STEP.2 の作業を行う





注意
● 施工後1時間以上、水がかからないようにすること。

② ホイールコーティング（マットホイール）

マットホイールコーティングで使用するツール

●マットテクスチャ ガラス
●マットテクスチャ スポンジ
●マットテクスチャブラシ
●ダイヤクロス
●マットテクスチャ レジン
●レジン用スポンジ　●ホイールクリーナー
●レジンクロス　●ホイール用スポンジ





（馬毛ブラシ）

施工箇所

●マットホイール4本



STEP.1　ホイールクリーニング

❶「ホイールクリーナー」と「ホイール用スポンジ」で
ホイールを洗浄し、水で良く洗い流す

使用ツール
●ホイールクリーナー

⚠ 注意
● 「ホイールクリーナー」を水で良く洗い流すこと。



STEP.2　マットテクスチャ ガラス

ホイールが濡れた状態で作業を行ってください。

❶ 水で湿らせた「マットテクスチャ スポンジ」に
「マットテクスチャ ガラス」を
スプレーし満遍なく塗り広げる





❷「ダイヤクロス」で拭き上げる

❸ 全てのホイールに❶～❷の作業を行う

参考
● スポンジを斜めにカットして使用すると
塗り広げやすくなります。





❹ エアーガンで隙間の水を飛ばし、拭き取る

参考
● ケミカルが硬化する前に拭き上げてください。



STEP.3　マットテクスチャ レジン

ホイールが乾いた状態で作業を行ってください。

❶「レジン用スポンジ」に「マットテクスチャ レジン」を
適量付け、満遍なく塗り広げる

参考
● スポンジを斜めにカットして使用すると
塗り広げやすくなります。

⚠ 注意
● 塗りムラが目立つのでしっかり塗り広げること。







❷「レジンクロス」で拭き上げる

❸ 全てのホイールに❶～❷の作業を行う



❹「マットテスチャブラシ」でコーティング被膜を
タテヨコナナメに掻き出す

⚠ 注意
● 「マットテクスチャブラシ」は都度レジンクロスの
キレイな面で余分なケミカルを拭き取る。





無塗装樹脂パーツキーパー

無塗装樹脂パーツキーパーで使用するツール

●ベストブラックⅡ
●マイクロスポンジ
●ダイヤクロス
●爆ツヤ
●爆ツヤ専用小分けボトル
●スポンジ 青





施工箇所

●全ての無塗装樹脂パーツ
●または各パーツ単品施工
（フェンダー・ワイパーカウル・メッシュグリル等）



STEP.1 洗車・脱脂工程

❶ 洗車を行い 無塗装樹脂パーツを「爆ツヤ」で洗浄し 水で良く洗い流す

使用ツール
●爆ツヤ
●爆ツヤ専用小分けボトル
●スポンジ 青



⚠ 注意
● 「爆ツヤ」を水で良く洗い流すこと。

❷ 「快洗Taoる」で無塗装樹脂パーツの水気を拭き取る

⚠ 注意
● 水気が残っているとコーティングのムラ付きの原因になるため、しっかりと拭き取ること。

使用ツール
●快洗Taoる



👆 参考
● タオルで拭けない隙間の水は、エアーガンで飛ばします。



STEP.2 無塗装樹脂パーツキーパー

❶ 「ベストブラックⅡ」を 「マイクロスポンジ」に適量取り 無塗装樹脂パーツ約1m幅に 満遍なく塗り広げる





👆 参考
● 液剤がサラサラしているため「マイクロスポンジ」に取り過ぎないようにしてください。
● 水気が垂れてきている場合は「快洗Taoる」で拭き取ってから施工してください。

❷ 乾いた「ダイヤクロス」で拭き取る



👆 参考
● 塗装面、ガラス面に「ベストブラックⅡ」が付いた場合は一緒に拭き取ってください。

❸ 全ての無塗装樹脂パーツに ❶❷の作業を行い、 塗り漏れ、ムラ付きが無いか確認

⚠ 注意
● 施工後6時間以上、水がかからないようにすること。
● コーティングの塗り漏れ、ムラ付きがある場合は、再度コーティングを施工すること。













※各パーツ単品施工の場合は STEP1・2 を注文を受けたパーツのみに行います。



👆 参考
● 施工後は6時間の自然硬化、もしくは「コーティングホールド」の作業を行う

次ページへ

無塗装樹脂パーツキーパー（コーティングホールド）

前ページより

STEP.3　6時間の自然硬化またはコーティングホールド

6時間の自然硬化、
もしくは「コーティングホールド」の作業を行う



参考
- 「コーティングホールド」を施工した場合、雨天でも硬化時間を待たずに引き渡しが可能です!

注意
- 「コーティングホールド」はベストブラックⅡ施工後、必ず「10分間置いてから」作業する

コーティングホールドを行う場合の使用ツール

- ●コーティングホールド
- ●コーティングホールド用蓄圧式スプレー
- ●キーパークロス
- ●純水
- ●純水用蓄圧式スプレー
- ●快洗Taoる



❶ 樹脂パーツに「コーティングホールド」を蓄圧式スプレーで噴霧する



❷ 「コーティングホールド」を噴霧した「キーパークロス」でベストブラックⅡを拭き押さえる



❸ ベストブラックⅡに蓄圧式スプレーなどで「純水」をたっぷりかける



❹ 「快洗Taoる」で、ボディにかけた「純水」を拭き上げる



❺ 窓、レンズ類、樹脂パーツを、水で固く絞った「キーパークロス」で拭き上げる



❻ 水滴残りがないか確認する



シリコンウインドウキーパー

STEP.1 油膜取りで使用

●グラスポリッシャーGPⅢ
●ダイヤクロス
●レジンスポンジB（推奨）



STEP.2~3 コーティング剤塗布

●シリコンウインドウキーパー
　●主剤
　●硬化剤
●専用スポンジ
　（別途用意）
●ティッシュペーパー
　（余分な成分が含まれていないもの）

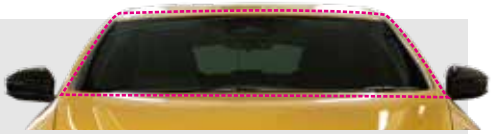


STEP.4 拭き上げに使用

●仕上剤
●レジン用スポンジ
●ダイヤクロス



施工箇所　●窓ガラスフロント
●または窓ガラス全面



コーティング剤使用量目安

●フロントガラスのみ＝1セット使用
●窓ガラス全面【SSサイズ～Mサイズ】＝2セット使用
●窓ガラス全面【Lサイズ～XLサイズ】＝3セット使用

注意：炎天下を避け、日陰でガラスを冷まして作業をしてください。
ガラス面用のためフィルム・ステッカー・プラスチックガラス・ミラーには塗布しないでください。

STEP.1　洗車・油膜取り

❶ 洗車もしくは濡れたタオルで汚れを拭き取った後
スポンジをクロスで包み、「GPⅢ」をつける



参考
● スポンジの硬い面(推奨:レジンスポンジBなど)をダイヤクロスで包む。

❷ 縦横に擦りながら油膜を除去する

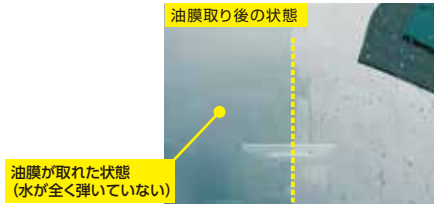


注意
● ゴム部分、塗装面に「GPⅢ」が付かないようにすること。

❸ 水で洗い流す。もしくは濡れたタオルで拭き取り、
油膜が取れたか確認し、水滴を拭き取る。



参考
● タオルで拭けない隙間の水は、エアーガンで飛ばします。
● 濡れタオルで拭いた際、画像左側のように
水が全く弾かなくなればOK

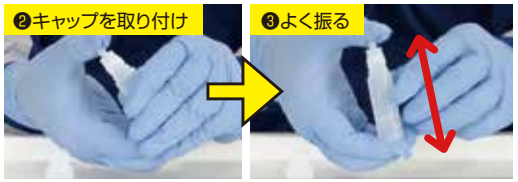


STEP.2　2液混合

❶ 「主剤」に「硬化剤」を
全て入れる



❷ 硬化剤の容器から
滴下キャップを取り外し、
主材容器に取り付け、
よく振る（10回）



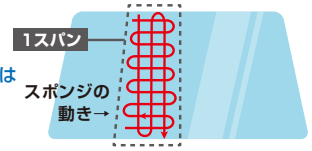
❸ 混合した液を
ティッシュペーパーを巻いた
「専用スポンジ」に
Wの字を書くように適量取る



STEP.3　塗り広げ

⚠ 窓ガラスが乾燥した状態で作業してください。

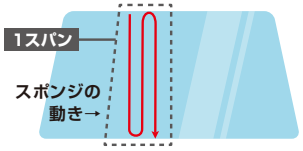
❶ フロントガラス1/4を1スパンとし、タテヨコに塗り広げる





参考
- 水がガラスに垂れてきている場合は「快洗Taoる」で拭き取ってから施工してください。
- 効果を出すため、隙間なくかつ十分な厚みが必要です

❷ 再度、タテに満遍なく塗り広げる。





注意
- ガラス面以外に付着した場合は速やかに除去する。
- 塗り伸ばしにくいと感じたら、都度コーティング剤を足す。
- ティッシュペーパーが破れた場合は新しいものに取り替える。

❸ 残りのフロントガラスに❶〜❷の作業を行う。



❹ 窓ガラスを乾燥させる。

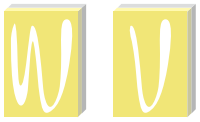
乾燥時間	20℃未満……15~30分まで 20℃以上……10~20分まで



注意
- 乾燥時間内に、速やかに「仕上げ」を開始してください。乾燥し過ぎると、拭き取りにくくなります。

STEP.4　仕上げ

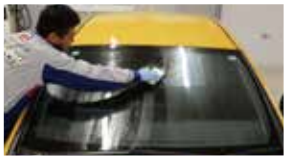
❶ 「レジン用スポンジ」へ「仕上剤」を“Wの字”に満遍なく塗布（以降はVの字）。





STEP.4　仕上げ

❷ フロントガラス1/2の面積にタテヨコしっかりとこすり



参考
- 仕上剤で塗りスジ跡を崩し切ります。

❸ “乾く前に”「乾いたダイヤクロス」で仕上げ拭き。



参考
- 仕上剤で塗りスジ跡を崩せば、キレイに仕上がります。

❹ 残りのフロントガラスに❶〜❸の作業を行う。



参考
- 作業完了後、すぐに濡れても（雨に当たっても）性能に影響はありません。

❺ 施工した箇所に水をかけて、撥水ムラが無いことを確認。



注意
- 撥水ムラがある場合は、水滴を拭き取り、ムラがある部分をもう一度コーティング・仕上げを行なってください。

※窓ガラス全面の場合は STEP.1~4 を窓ガラス全面に行います。



施工動画マニュアル→
シリコンウインドウキーパーの作業を収録